

pairs × 映画『ママは日本へ嫁に行っちゃダメと言うけれど。』
恋活・婚活中の女性をゲストハウスでの特別試写会へご招待
～6月23日（木）より応募受付スタート～

株式会社エウレカ（本社：東京都港区、代表取締役CEO：赤坂優）が運営する、恋愛・婚活マッチングサービス『pairs（ペアーズ）』（<https://www.pairs.lv/>）は、2016年6月23日より、今秋公開予定の映画『ママは日本へ嫁に行っちゃダメと言うけれど。』とコラボレートし、ゲストハウスでの映画試写会キャンペーンを実施いたします。



映画『ママは日本へ嫁に行っちゃダメと言うけれど。』は、日本人男性と台湾人女性がオンラインサービス上で知り合い、恋愛期間を経て実際に結婚した実話をもとにしたラブストーリーです。

時代の流れとともに恋愛・結婚のスタイルが多様化するなか、pairsでは、そのさまざまな“きっかけ”と“かたち”を応援したいという想いから、本キャンペーンを企画。pairsの女性ユーザー30組60名様を特別試写会へご招待します。会場は、ゲストハウスウエディングを展開しているアニヴェルセル。東京のほか、横浜・大阪・神戸においても順次開催予定です。

【試写会キャンペーン概要】

- ・開催日：2016年7月7日（木）
 - ・募集期間：6月23日（木）～6月30日（木）
 - ・当選発表：7月1日（金）
 - ・応募条件：6月23日時点でpairsにご登録いただいている女性の方
 - ・応募方法：pairsにログインし、お知らせページに配信された応募フォームよりご登録ください
 - ・参加費：無料
 - ・会場：アニヴェルセル 東京ベイ (<http://tokyobay.anniversaire.co.jp/>)
 - ・募集人数：30組60名（女性のみ）
- ※横浜・大阪・神戸での開催概要は、pairs内のお知らせページにて、後日告知予定です。

【映画『ママは日本へ嫁に行っちゃダメと言うけれど。』情報】

- ・公開予定：2016年秋
- ・監督：谷内田彰久
- ・出演者：ジエン・マンシュー（簡嫚書） / 中野裕太 / 王彩樺 / 蛭子能収 / 他
- ・公式サイト：<http://mama-dame.com/>

<pairsについて>

「pairs」は、日本および台湾において合計400万人以上が利用する、恋愛・婚活マッチングサービスです。累計マッチング数は2,230万組を突破。Facebookの登録情報を活用しているため、匿名性・機密性が高く、24時間365日の目視による写真・投稿監視体制で、安心・安全にユーザー同士が交流することができます。

公式サイト：<https://www.pairs.lv/>

対応端末：iPhone/Android

対応言語：日本語、繁体字中国語

サービス地域：日本、台湾

サービス開始日：2012年10月

価格：ダウンロード無料

開発・運営：株式会社エウレカ

App Store：<https://itunes.apple.com/jp/app/pairs-peazu-lian-ai-hun-huomatchingusabisu/id583376064>

Google Play：<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.eure.android.pairs>

■株式会社エウレカ

所在地：〒107-0062 東京都港区南青山2-27-25オリックス南青山ビル6F

代表者：代表取締役CEO 赤坂 優（あかさか ゆう）

設立日：2008年11月20日

資本金：100,000,000円 ※2016年3月時点

事業内容：Facebookを利用した恋愛・婚活マッチングサービス「pairs」の運営、カップル向けのコミュニケーションアプリ「Couples」の運営

URL：<http://eure.jp/>

【本リリースに関するお問合せは下記まで】

株式会社エウレカ（広報：田山）

Mail：pr@eure.jp

TEL：03-4500-4727